

『認知症看護研修』 研修会実施報告

日時 : 令和4年1月15日(土) 9:00~16:00
対象者 : ラダーⅡ~Ⅲを目指す者・認知症ケア加算Ⅲ施設基準研修受講者
参加者数 : 21名
目標 : 認知症患者の看護に必要な基本的知識と適切なケアについて学ぶ
認知症ケアにおいて指導的役割を果たすことができる

<講師の紹介>

公益社団法人 兵庫県看護協会
教育認定部
認知症看護認定看護師
吉見 薫 先生



<内容>



最初に「認知症の人がたどる経過を知る」をテーマに、脳の働きや原因となる疾患について説明がありました。認知症の症状は認知機能障害（中核症状）と行動・心理症状（BTSO）の大きく2つに分かれており、それぞれの症状について事例を交えてわかりやすく説明して頂きました。

次いで「認知症の人を全人的に理解する」をテーマにグループワークを交えながら講義をして頂きました。情報収集は、家族だけでなく本人に聞く、本人を観察する、これまでの体験や背景を知ることが重要であり、

得られた情報を総合的に判断し、認知症の人を捉えていく必要があること学びました。

最後は「適切なアセスメントとケアを提供する」をテーマにグループワークを中心に講義をして頂きました。認知機能が低下していく方の動画を視聴して、その方の認知機能障害のアセスメントを行いました。認知機能が障害されている部分と障害されていない部分、様々な視点から症状を捉えアセスメントする事で適切なケアへ結びつけることができること学びました。今回の学びを活かし、認知症の人が話す言葉をありのままに受け入れ、意思を尊重した関わりやコミュニケーションを実践し、安全に苦痛なく過ごしていける療養環境を整えていきたいと考えます。